

# ライブラリーサポーターのこの1年(深草図書館篇)

## 4月

### 図書館ガイダンス



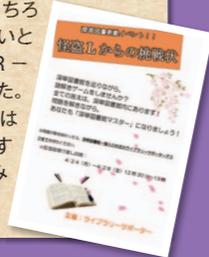
新入生のオリエンテーション期間中に実施される図書館ガイダンスの時に、大教室の壇上からライブラリーサポーターの活動内容を紹介しました。大勢の前に立って話すという機会はあまりないので、はっきり言ってあがりました。とにかく新入生にライブラリーサポーターについて知ってもらいたいという思いが強かったので、なおさら緊張しました。ガイダンスを終えた感想として、つたない説明ながらも皆さんが真剣に聞いてくださったことが心に残り、やはり話してよかったなと思いました。

横江 彩乃 (法学部3回生)

### 謎解きゲームⅢ

4月の1週間お昼休みを使い、図書館で新入生歓迎企画の謎解きゲームⅢを開催しました！新入生のみならずもちろん在学生のみならずにも図書館に親しんでもらいたいと思い、図書館の蔵書を簡単に検索できる機能のR-WAVEなどを使用するクイズを10問程度出しました。2018年度も謎解きゲームを企画しています。問題は決して難しいものではなく、正解者には賞品も出ますので、新入生の方は是非一度図書館に足を運んでみてください。

宮脇 葵 (法学部3回生)



## 9月

### 全国高等学校ビブリオバトル 京都府大会



大学生ビブリオバトルとはまた違った会場の雰囲気と本のチョイスが興味深く、ビブリオバトルの魅力である「本を通して人を知る、人を通して本を知る」をまじまじと覚えることが出来る熱量の溢れる大会でした。京都府大会は今回が初めての開催でした。当日は司会としてパトラーさんたちの姿を一番近くで見守らせていただきましたが、どのパトラーさんも緊張しながらも楽しんで場に臨んでおられました。これからも何らかの形で、さらさらと本を紹介する彼らの姿を見ることが出来たら幸いです

伊集院 美佳 (文学部3回生)

## 10月

### ライブラリーサポーターのおすすめ本



おすすめ本の紹介では、テーマ(「新生活」)にあった本を深草図書館の蔵書から探すところ、次の紹介文を考える過程、最後の掲示用のポスター作製に至るまで、そのどれもが得難い経験となりました。特に、ポスター作製に関しては、テーマに沿った内容を、季節感を盛り込みつつ、利用者の方の目を引きやすいものに仕上げるのが難しかったです。様々に考える点があり、とても強く印象に残りました。完成後も、もっとわかりやすい図案はなかったものか、とも思います。今後、図書館を利用する際は、掲示物にも注意を払い、勉強していきたいと思っております。

吉田 晴香 (文学部2回生)

## 10月

### 京都女子大学「図書活スタッフ」との交流



ライブラリーサポーターとして京都女子大学の図書館の見学へ行ってきました。他の大学の図書館を見る機会はあまり無いのでとても新鮮でした。出来たばかりの図書館だったので、深草図書館と同じ所や違う所がよく分かりとても勉強になりました。また京都女子大学のサポーター(図書活スタッフ)の方とも交流することができました。その中で多くの意見交換をし、とても良い刺激になりました。これから私たちの活動の幅をもっと広げていきたいと思いました。

佐藤 友紀 (文学部1回生)

## 12月

### 留学生クラスとの交流



留学生との交流は、言葉を教えることの難しさを自分に教えてくれました。よく、難しい事を分かりやすく説明する事は難しいと言いますが、分かりやすい言葉だけを使って説明することもまた似たような難しさを感じました。日頃の言葉に多くの漢字、慣用句を用いているのがよく分かりました。そしてそれ故に、日本語の表現力の凄さを実感しました。例えば「格好」という言葉が伝わらなければ「コスチューム」と言い換え、仏教と修験道の違いをキリスト教とユダヤ教に言い換える。古くから中国をはじめ、様々な国の言葉を節操無く取り入れた日本語だからこそできたのだと思います。

森本 太郎 (文学部2回生)



### TOPICS

- 1 瀬田ライブラリーサポーターが2017年度に紹介した図書
- 2 ライブラリーサポーターのこの1年(深草図書館篇)

## 2月

### 本願寺中央幼稚園での紙芝居上演

ライブラリーサポーターは、宗教部が募集していた2017年度の仏教活動奨学生に採用されました。その活動の一環として、本願寺中央幼稚園での紙芝居「親鸞さま」の上演を企画しました。12月には園長先生を訪ね、園児たちに「楽しみながら仏教を知ってもらおう」ためには、どのような活動をおこなえばよいのか、具体的なアドバイスを受け、準備に努めました。訪問の当日は、親鸞さまの立体紙芝居の上演と、それに関するクイズを披露しました。幼稚園の子たちに仏教に親しみながら楽しんでもらうために、チーム一丸で頑張りました。



横江 彩乃 (法学部3回生)

# 瀬田ライブラリーサポーターが2017年度に紹介した図書

7~9月 夏企画

10~11月 ○○の秋

12月~2月 フユキカク イヌ

## 『無花果とムーン』 桜庭一樹

KADOKAWA 081/2016/109

アーモンドアイスを食べた死んじゃったお兄ちゃんが、UFOに乗って帰ってくるって。

## 『溪流紀行：京都・滋賀の釣り』

水野丹石

京都新聞社 787.1/ミタケ

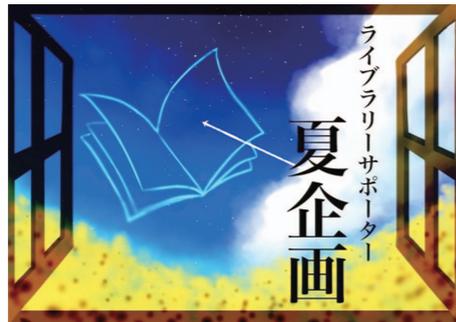
長い夏休みに釣りをしてよりゆったりとした時間を楽しみませんか？

## 『エンジェルメイカー』

ニック・ハーカウェイ

早川書房 081/2016/46

あつい



## 『羅城門の怪：異界往来伝奇譚』

志村有弘

角川書店 388.1/シクラ

異界への扉を開けてみよう

## 『初恋は坂道の先へ』 藤石波矢

KADOKAWA 081/2014/25

彼女が消えた。一冊の本とともに。

## 『日本の花火』 小野里公成

筑摩書房 081/チクマ/670

花火を見に行きませんか？  
本書は一度は見たい全国の花火からその楽しみ方まで解説。花火観覧がより楽しくなる一冊です。

## 『黄色い水着の謎』 奥泉光

文芸春秋 081/2015/104

笑いの地雷を敷きつめた傑作ユーモア・ミステリ。

## 『花火のふしぎ』 冨木一馬

ソフトバンククリエイティブ

081/サイエ/212

夏の風物詩「花火」。その歴史、仕組みを紐解く一冊。



## 『柿づくし』 濱崎貞弘

農山漁村文化協会 628/ハサカ

知られざる柿の魅力に迫った一冊。

## 『魚は痛みを感じるか？』

ヴィクトリア・ブレイスウェイト

紀伊國屋書店 487.51/フウサ

食べる前に魚の痛みを知ろう

## 『シラノ・ド・ベルジュラック』 ロスタン

光文社 081/コウフ/1

剣豪で詩人のシラノは大鼻の醜男だった。  
あることから彼が密かに思いを寄せていた女性ロクサーヌの、別の相手との恋に協力することになる。ロクサーヌが思いを寄せる相手は美男であり詩人ではなく、シラノとは正反対で…

## 『吉田沙保里と伊調馨を育てた至学館「前田食堂」のやり抜く力をつける食習慣』

前田寿美枝

宝島社 788.2/マスヨ

食べ方に自身の立ち振舞いが表れる。食べ方が変われば言葉も変わる。トップアスリートは食事への意識も高い。



## 『なぜ犬はあなたの言っていることがわかるのか』

ヴァージニア・モレル

講談社

481.78/モウナ

犬にとって人間は何をおいても協力しようと思えるパートナーらしいですよ。

## 『セラピードッグの子守歌：認知症患者と犬たちの3500日』

真並恭介

講談社

493.75/シキセ

感動間違いなし

## 『ソロモンの指環：動物行動学入門』

コンラート・ローレンツ

早川書房

481.78/ロコソ

動物達は人間に語りかける。トウギョはその闘争、ハイイロガンはその音声、犬達は人間の期待にそう行動によって…